

2017 くじら雲 イルカノート No.1

2017年4月28日



イルカの生活 1か月♪

イヌノフグリやタンポポがきれいな季節になりました。「はじめのいっぽ」をふみだして、約1か月がたちます。子どもたちは、元気いっぱい過ごしていますが、朝は、お父さんやお母さんと離れにくい日もあります。登園の時は「いつ帰れるのかなあ?」「帰ったら泣くのかなあ?」と迷いながら、引き際を探る毎日かもしれませんね。子ども自身が、「ここでは泣いてもいいんだ」「泣いたら一緒にいてくれる人がいる」そんな風に思ってくれたらいいな、という気持ちで、毎日だっこしています。泣いていても、ずっと泣いているわけではありません。子どもたちは、友達に励まされたり、きっかけをみつけて遊ぶようになってきました。

5月の新緑の山でどんな出来事が待っているのか?どんな生き物と出会えるのか?楽しみです。



イルカの生活「食べる!」

おなかがすいたら食べる!これが幸せ。これから、いっぱい遊んでおなかをすかせてRiさんのごはんを食べたいと思います。食べることは5人共通の楽しみです!

<つまみ食いのススメ!・・・>

お昼ごろ、Nちゃんがお母さんを求めて涙がぽろり。2歳児のいろんな救いの手があるものです。給食のデザートを「パク!」とつまみ食いするIくんとOちゃんを見て、泣いていたNちゃんはニコッと笑いました。別の日、思いどおりにならなくて、眠くて、ぐずって、泣きやまないMちゃん。お花見のパーティにちょっと参加。そこで、桜のパウンドケーキを「パク!」Mちゃんは泣くのをやめて保育者に抱かれたまま、すやすや眠ってしまいました。

食べることで、うれしくなったり、楽しくなったり、涙が止まることもあります。やっぱり「食べる」つていいなあ!そして、はめをはずすことも・・・。



↑みんなで作ったぎょうざ



↑登園後の朝ごはんの風景



↑お昼寝の後のおやつ。

焚火で干しいも



イルカの生活 「寝る♪」

眠くなったら寝る!これが幸せ。昼寝は、おとなが無理に寝かせるのではなくて、眠くなって、自然に眠ってほしいものです。まだ昼寝をすることを不安に思う子どもたちもいます。ある日の出来事、この日



はYさん（卒園児のお母さん）が保育をお手伝いしてくれた日。眠くてぐずったRちゃんをYさんが外でおんぶすると、すやすや寝てしまいました。この日は暖かくて静かでとっても気持ちがいい午後。ござが敷いてあった広場にごろんと寝かせて、このままお昼寝。鳥のさえずりの中で最高の昼寝になったことでしょう。眠る様子は一人ひとり違って、絵本を読んでいるうちに寝てしまうこともあります。保育者のおんぶやだっこで眠りにつくこともあります。



イルカの生活 「あそぶ！」

毎日さんぽに出かけて、押野の山道を歩きます。さんぽの様子は様々です。Iくんは、山を駆け回って、先頭と最後尾を行ったり来たり。0ちゃんは木の実や木の枝、草花を探してゆっくり山歩き。ハンモックにゆられて気持ちよさそうな Rちゃん・Mちゃん。友達の水筒を配ったり、誰かが困っているとそっと声をかけてくれるNちゃん。それぞれの楽しみを見つけています。

満たされるまで遊ぶこれが幸せ！これからが樂しみな5人です。



お知らせ・確認

- * 予定していました家庭訪問は、おうちに訪問するというよりは、いつか、位置確認だけをさせていただきます。
- * おむつを使用している方は、5月から、少しずつパンツをはいて過ごす機会をつくっていきます。そろそろパンツのご用意をお願いします。個人差があるので、ご相談ください。
- * 年間予定にあります 5月の長峰山登山・田植えについては、今回はイルカは参加しません。また機会があれば参加を考えていきます。
- * 水遊びやどろんこ遊びが楽しくなってくる季節になります。着替えの引き出しを時々見ていただいて、補充をお願いします。



5月の予定

- ★ 5/2（火）発育測定
- ★ 5/12（金）Iくん誕生日
- ★ 5/19(金) 保護者会
12:30~13:30 くじら雲焚火スペースにて
3歳以上の保護者と合同です。お時間がある方はどうぞ
ご参加ください。

